

【 政 治 】

● 内政

- 1 大統領、違法採掘に関与したルアブラ州大臣を解雇
- 2 与党報道官、政府高官の逮捕は政府が野党を迫害していない証明と発言
- 3 反汚職委員会、2021年以降汚職関連犯罪で130人以上を逮捕
- 4 会計検査委員長、辞任
- 5 首都ルサカ中心部、違法露店を強制撤去
- 6 ザンビア企業の一部が、中東のテロ組織と関連していることが明らかに
- 7 財務省事務次官、汚職関与の容疑で逮捕

● 外交・対外関係

- 1 大統領、エスワティニ国王と会談
- 2 大統領、アンゴラ訪問
- 3 大統領、ガーナ訪問
- 4 大統領、南部アフリカ開発共同体(SADC)トロイカサミットへ出席
- 5 ドイツ政府、ザンビアの電力・水事業に対し約3,600万ユーロの援助
- 6 副大統領、世界銀行地域副総裁と会談
- 7 カクボ外相、ロシア・アフリカサミットへ出席

【 経 済 】

- 1 ガソリン価格、微増
- 2 政府、電気自動車用バッテリーバリューチェーン確立に向けたパートナー探し
- 3 IMF、6月に決定した債務再編により、2026年までに77億ドルが節約されると算定
- 4 政府、2024年から2026年の経済成長率は年平均4.7%になると予測
- 5 ナイジェリア企業、太陽熱発電の導入に10億ドルの投資
- 6 北部コッパーベルト州において、太陽光発電の導入に68億ドルの投資
- 7 インフレ率、10.3%へ上昇
- 8 政府、ザンビア開発銀行(DBZ)を解体し、新規の開発銀行を設立する計画
- 9 プーチン大統領はザンビアの電気自動車分野に関心あり

政治

● 内政

1 大統領、違法採掘に関与したルアプラ州大臣を解雇

7月5日、ヒチレマ大統領は、杉石（スギライト）の違法採掘に関与した疑いのあるルアプラ州大臣を解雇した。同大臣は解雇直後に警察によって逮捕された。（7月6日付 News Diggers）

2 与党報道官、政府高官の逮捕は政府が野党を迫害していない証明と発言

与党国家開発統一党（UPND）報道官は、会見においてルアプラ州大臣を始めとする政府関係者の逮捕は法の支配が誰にでも適用される証左であり、野党関係者が収賄の容疑などで逮捕された折に迫害と述べることはナンセンスであると述べた。同時に、汚職に関与した政府高官・与党関係者の犯罪は党の活動ではなく個人の犯罪行為であるため、与党の信頼低下には繋がらないと述べた。（7月11日付 News Diggers）

3 反汚職委員会、2021年以降汚職関連犯罪で130人以上を逮捕

反汚職委員会（ACC）は、アフリカ反汚職の日と併せて実施した会見において、2021年以降汚職関連犯罪で130人以上を逮捕し、約4億8千万クワチャの財産を凍結・没収したと明らかにした。同時に市民に対して、いかなる被害にあっても保護されることを保証した上で、汚職行為を法執行機関に報告するよう促した。（7月12日付 News Diggers）

4 会計検査委員長、辞任

7月12日、ヒチレマ大統領は、会計検査委員長から辞表が提出されたことを受け、これを即時受理した。会計検査委員長は2019年、前政権時代に任命されたが、本年3月に反汚職委員会により収賄の指摘を受け逮捕・起訴されていた。（7

月13日付 News Diggers）

5 首都ルサカ中心部、違法露店を強制撤去

首都ルサカ中心部にある CBD(Central Business District) 地区は、かねてより違法な露店が建ち並んでおり、公衆衛生上の懸念などが表されていた。今般、ザンビア政府及びルサカ市が共同で違法露店を強制撤去すると同時に一斉清掃を実施した。撤去された違法露店に対しては、営業継続するならば市場内に空きスペースがあり入居可能であるため問題ないとしている。（7月19日付 Daily Mail）

6 ザンビア企業の一部が、中東のテロ組織と関連していることが明らかに

金融情報センター(Financial Intelligence Centre)が発表した2022年マネーロンダリング及びテロ資金調達動向報告書の中で、ザンビア企業の一部に中東のテロ組織との関連があることが明らかになった。現金主義や金融機関の監視体制が整っていないことが、マネーロンダリングやテロ組織との連携が容易な要因であり、対策強化を進めていくとしている。（7月19日付 News Diggers）

7 財務省事務次官、汚職関与の容疑で逮捕

反汚職委員会（ACC）は財務・国家計画省の事務次官を、職権乱用及び200万クワチャ以上の汚職関与を含む複数の犯罪で起訴したと発表した。また、同省の内部監査局長を手当の不正受給の容疑で逮捕・起訴した。反汚職委員会は、本年1月以降の逮捕件数が38件に上ったことも発表した。

（7月28日付 News Diggers）

● 外交・対外関係

1 大統領、エスワティニ国王と会談

6月30日、ヒチレマ大統領は、当地を訪問中のムスワティ3世・エスワティニ国王と会談し、貿易・投資協力、国防・安全保障共同常設委員会の

設立、政府間協力、農業協力、芸術・文化協力、そして林業・観光に関する覚書を締結した。(7月1日付 Daily Mail)

2 大統領、アンゴラ訪問

7月4日、ヒチレマ大統領は、アンゴラを訪問し、ロウレンソ・アンゴラ大統領及びチセケディ・コンゴ民主共和国大統領と会談した。3国は、大西洋沿いのアンゴラからコンゴ民主共和国を経由してザンビアに至るロビト回廊の設立に向けた覚書を締結し、ヒチレマ大統領は鉄道を活用した新たな交易ルートを強力に推進する意向を示した。

(当館注:ロビト回廊の設立及び整備に関しては、本年5月に米国が250億ドルの支援を表明している。)(7月5日付 News Diggers)

3 大統領、ガーナ訪問

7月7日、ヒチレマ大統領は、ガーナを訪問しアド大統領と会談した。会談ではアフリカ大陸自由貿易圏(AfCFTA)の枠組みを活用しての両国間の貿易・投資の更なる促進が主たる話題となった。

(7月8日付 Times of Zambia)

4 大統領、南部アフリカ開発共同体(SADC)トロイカサミットへ出席

7月12日、ヒチレマ大統領は、南部アフリカ開発共同体(SADC)トロイカサミットへオンライン出席した。会合ではコンゴ民主共和国東部へのSADC 任務部隊の派遣に向けたマンデート及び法的基盤が承認されるとともに、モザンビーク・ミッション(SANIM)のマンデート延長が決定した。

(7月13日付 Times of Zambia)

5 ドイツ政府、ザンビアの電力・水事業に対し約3,600万ユーロの援助

ドイツ政府は、開発銀行であるドイツ復興金融公庫(KfW)を通じて、ザンビア政府に対し3,600万ユーロの援助を行うことを表明した。用途と

しては、120MWの太陽光発電、100MWの小水力発電、都市での水道整備に充てられる。(7月26日付 News Diggers)

6 副大統領、世界銀行地域副総裁と会談

7月27日、タンザニアにてアフリカ人財サミットに参加中のナルマンゴ副大統領は、クワクワ世界銀行東部アフリカ・南部アフリカ担当副総裁と会談した。ナルマンゴ副大統領は、世界銀行が債務再編で果たした役割について感謝を述べるとともに、学校給食に関して世界銀行に更なる支援を求めた。世界銀行側からは、来年に向けて学校給食および教育分野に、1億5,000万ドルの支援を検討中との回答があった。(7月28日付 News Diggers)

7 カクボ外相、ロシア・アフリカサミットに出席

7月27、28日にサンクトペテルブルクで実施予定のロシア・アフリカサミットについて、ヒチレマ大統領の代理としてカクボ外務・国際協力大臣が参加する。また、チポカ商業・貿易・産業大臣も同行する。(7月28日付 Daily Mail)

経済

1 ガソリン価格、微増

エネルギー規制委員会(ERB)は、ガソリン価格を1リットルあたりK0.48引き上げ、K24.93とする一方、ディーゼル価格をK21.87に据え置くと発表した。(7月1日付 Times of Zambia)

2 政府、電気自動車用バッテリーバリューチェーン確立のためのパートナーを求める

ムレンガ商業・貿易・産業大臣は、ボツワナで開催されたザンビア・ビジネスフォーラムの場で、コンゴ民主共和国、米国政府、国際連合アフリカ経済委員会(UNECA)及びアフリカ輸出入銀行が

連携し、電気自動車バッテリーのバリューチェーンを構築することを提案し、かかる構築に向け、戦略的パートナーと投資家に参加を呼びかけた。

(7月15日付 Daily Nation)

3 IMF、6月に決定した債務再編により、2026年までに77億ドルが節約されると算定

IMFはスタッフ報告書で、対外債務再編により、2022年から2025年間の支払い額の72%(76億5,000万ドル)が節約されると発表した。対外債務は2022年末時点で200億9,000万ドルに達していた。IMF理事会は、7月13日にザンビアに対する1億8,900万ドルの拠出を承認している。(7月15日付 Daily Mail)

4 政府、2024年から2026年の経済成長率は年平均4.7%になると予測

ンクルクサ財務官は、2024年の経済成長率は4.8%、2025年は4.3%、2026年は5.0%になる見通しを示した。2024年から2026年の政府経済政策は、マクロ経済の安定化、民間投資誘致に資する環境整備及び暮らしの改善を通じた経済成長の促進に重点を置く。(7月17日付 News Diggers)

5 ナイジェリア企業、太陽熱発電の導入に10億ドルの投資

ZESCOは、ナイジェリアのACSG ウェストランド電力会社(ACSG Westland Power Company)と電力購買契約を結んだ。同社からの10億ドルの投資により、510MWの発電力を持つ太陽熱発電所が建設される。最初に、10MWの施設が建設され、その後500MWの施設が全国に建設される予定。(7月19日付 Daily Mail)

6 北部コッパーベルト州において、太陽光発電所の建設に68億ドルの投資

オクセン貿易会社(Oxen Trading Limited Company)(当館注:企業国籍不明)は、北部コッパーベルト州において、太陽光発電所の建設に68億ドルの投資を表明した。建設予定地は農業地帯であることから、灌漑農業を促進し、食料安全保障の改善及び近隣国市場への農作物供給につながる。コッパーベルト州のカソング次官は、太陽光発電所が建設されることで、地域の産業振興につながるとともに、地域の雇用を創出する旨期待すると述べた。(7月21日付 Daily Nation)

7 インフレ率、10.3%へ上昇

7月のインフレ率は、6月の9.8%から上昇し、10.3%を記録した。ザンビア統計局(Zambia Statistic Agency)は、インフレ率の上昇は主に食料価格の高騰に起因しており、年間の食料インフレ率は12.1%と、6月の11.2%から上昇したとした。(7月28日付 News Diggers)

8 政府、ザンビア開発銀行(DBZ)を解体し、新規の開発銀行を設立する計画

ザンビア中央銀行は、7月21日を以てザンビア開発銀行の所有権を取得すると共に、新規の開発銀行を設立する方針を発表した。ムソコトワネ財務・国家計画大臣は、この解体に至った経緯として、貸付金返済を行わない人々によって、同行の98%の貸し付けが不良債権となっていたと説明した。(7月22日・28日付 News Diggers)

9 プーチン大統領はザンビアの電気自動車分野に関心あり

露のプーチン大統領は、第2回ロシア・アフリカサミットの中で、露の自動車産業は電気自動車のバッテリー製造に関しザンビア企業と合併会社の契約を結ぶ可能性を追求すると発言した。

(7月29日付 Daily Mail、Times of Zambia)

(了)